

●第14回日本生理学会将来計画委員会議事録

日 時：平成17年5月20日 18：30～20：50

場 所：仙台国際センター3階会議室6

出席者：前田信治（委員長）、上坂伸宏、久野みゆき、久保義弘、黒澤美枝子、小西真人、辻岡克彦、西田育弘、二科安三、松尾 理、森田啓之、徳永 太、中島龍一、宮川尚久、松田哲也（オブザーバー）

欠席者：八尾 寛、彼末一之

持ち回り委員会で議論を進めてきた「執行部体制の在り方」ならびに「生理学教育と研究に対する提言」、若手の会からの要望による「運営委員会組織の充実」について議論した。

1. 日本生理学会の執行部体制の在り方について

昨年、秋の常任幹事会以来、持ち回り委員会として検討を進めてきた本課題に対して集約された意見を基盤として、また、本委員会に先立って開催された日本生理学会総会・評議員会で承認された法人化委員会の発足ならびに日本生理学会会則の改定にともない副会長2名をおくことを念頭において議論した。

(1) 現時点では、法人化委員会とは切り離れた形で議論を進め、法人化に際してその検討内容と精神を盛り込んで頂く方向で進めることとした。

(2) 会長の選出は公選制とし、副会長は会長が指名するものとする。また、会長の任期を4年程度とし、副会長の任期は会長に準ずることで意見の一致を見た。なお、学会運営の継続性を維持するために次期会長と副会長を任期の1年前に選出することが望ましいとされた。このことと関連して会長と副会長の再

任を可とする積極的な意見は見られなかった。

(3) 会長・副会長の候補者として広く適切な人材を求め、会長の選挙人については、評議員が適当とされた。

(4) 公選制による会長の選出を実施するにあたっての適切な移行措置の必要性について議論され、その具体案を検討することとした。

2. 生理学教育と研究に対する提言について

昨年、夏の本委員会以来、持ち回り委員会として検討を進めてきた本課題と関連して、医学部の生理学教育の重要性とその在り方、ならびに他学部の生理学教育や一般社会における生命科学の教育への波及効果などについて議論がなされた。本提言については、日本生理学会のホームページや日本生理学雑誌への掲載の方向で進めることとした。

3. 若手の会運営委員会組織の充実について

若手の会代表者から、日本生理学会・若手の会の運営委員会の設置の承認にともない本運営委員会の充実のために運営委員を各地方会から選出したい旨の要望がなされ、種々議論された。

●第28回循環グループディナーの報告

日 時：平成17年5月18日（水）午後7：00～9：00

会 場：仙台，仙台エクセルホテル東急

出席者：日本生理学会循環グループ48名

会の内容

- (1) 開会の挨拶：世話人の西田による開会の挨拶
- (2) 乾杯のご発声：清水勉先生（福島県立医科大学名誉教授，諏訪清水宇宙生理学研究所所長）のご挨拶と乾杯の御発声.
- (3) ディナーと歓談：
- (4) JJP循環部門最優秀論文賞の表彰式：
JJP2004年第1号から2004年第6号までの1年間における循環に関する論文29編の中から，14施設17名の選考委員審査により，広島大学大学院保健学研究科の松本睦子先生による論文“Cardiovascular and Intravesical Pressure Responses during Natural Micturition in Conscious Rats.”が最優秀論文に選定されました。世話人である西田が表彰状と賞金の授与を行いました。受賞者によりスピーチと論文紹介がありました。（学会HP参照）
- (5) 最優秀論文賞の総評：大橋俊夫先生（信州大学大学院医学研究科器官制御生理学教授，医学部長）より循環グループ最優秀論文賞についての総評.
- (6) 新任教授のご挨拶：今回は参加者にはおられませんでした.
- (7) 各講座・研究室の紹介：名簿順に各講座・研究室の紹介や近況報告を頂きました.
- (8) 次回開催担当者挨拶：金沢医科大学生理機能制御学教授によるご挨拶.
- (9) 閉会の挨拶：世話人の西田による閉会の挨拶

平成17年5月30日

（文責，世話役：防衛医科大学校生理学第二講座
西田育弘）

●第82回日本生理学会大会「感覚合同グループディナー」の報告

第82回日本生理学会における感覚合同グループディナーは平成17年5月18日（水）午後6時30分より仙台ガーデンパレスで開催されました。感覚合同グループディナーは元々視覚グループディナーが10数年前に名称を変えたもので、視覚の研究者に留まらず広く感覚の研究者と情報交換を行う場としてほぼ毎年開催されております。この3年間は利き酒を話題にして、交流を深めてまいりました。今回は世話役の私（岩手医科大学歯学部 北田泰之）が味覚生理を専門としているものですから、山本隆先生（大阪大学大学院人間科学研究科行動生態学講座 教授）に「おいしさの生理学」のタイトルで話題提供をお願いしました。

参加者は34名でその内、学生は6名でした。研究分野は味覚系14名、視覚系7名、嗅覚系4名、体性感覚系3名、その他6名でした。

山本隆先生はこれまで、味覚生理の分野で大きな成果を上げてこられました。最近では味覚研究の中でも究極のテーマである「おいしさ」に挑戦され、

次々とインパクトのある発表をされておられます。ラットの摂食・飲水行動学的アプローチから、「おいしさ」の脳内機序を解説して戴きました。

山本隆先生の講演後、立食パーティーに移りました。金子章道先生から乾杯の音頭をとって戴きパーティーが始まりました。金子先生は視覚グループディナーから感覚合同グループディナーへの発展に尽力された先生であります。同じ感覚生理を専門にしながらも日頃は交流の少ない他の感覚系の先生と交流できるいい機会となりました。また、今回のテーマ「おいしさ」の生理学的意味を噛みしめながら料理に舌鼓を打ちました。

次回は、視覚生理学がご専門の渡辺修一先生（埼玉医科大学生理学 教授）にお願いすることになり、散会となりました。

平成17年6月22日

（文責：岩手医科大学歯学部口腔生理学講座
北田泰之）

●第28回細胞と分子生理の集い・ 上皮膜研究グループ合同グループディナーの報告

平成17年5月18日から20日の3日間、第82回日本生理学会大会が仙台で開催され、恒例の細胞と分子生理の集い・上皮膜研究グループ合同グループディナーが、5月19日（木）午後6時30分から、仙台エクセルホテル東急（メープルルーム）にて岩手医科大学・生理学第二講座の久保川を世話人として行った。

会は、

- 1) 開会のご挨拶（生理学研究所教授、岡田泰伸先生）
- 2) 平成16年度、細胞と分子生理の集い・上皮膜研究グループJJP優秀論文賞の発表と表彰、
- 3) 論文筆頭著者による受賞論文の紹介と特別講演、
- 4) 乾杯のご発声（北海道大学・獣医学部名誉教授、菅野富夫先生）、
- 5) ディナーと歓談、
- 6) 教室紹介、
- 7) 最後に、本大会の副大会長、丸山芳夫先生が挨拶され、午後8時30分にお開きとなった。

-
- 1) 岡田泰伸先生の開会のご挨拶で、今後のJJP、

およびJJP賞のあり方などについてお話があった。

- 2) JJP賞については、4編のnominateがあり、6名の審査員による投票の結果、富山医科薬科大学・薬学部の酒井秀紀先生の論文（Leukotrienes-Mediated Effects of Water Extracts from Sargassum horneri, a Marine Brown Alga, on Cl⁻ Absorption in Isolated Rat Colon. JJP 54 : p 71-77, 2004）に決定した。
- 3) 酒井秀紀教授よりJJP賞受賞論文の紹介があり、その後、富山医科薬科大学教授、林利光先生よりご講演があった。
- 4) 北海道大学名誉教授、菅野富夫先生による乾杯の音頭で立食パーティーが始まった。
- 5) 恒例となった教室紹介を、南から順に行っていた。
- 6) 今大会副大会長の丸山芳夫先生のご挨拶と、特別講演をされた、OH. Petersen博士からもスピーチを頂き、お開きとした。

平成17年6月9日

（文責：岩手医科大学・生理学第二講座、久保川学）